

第7回東通村まち・ひと・しごと総合戦略本部会議 議事録

1. 日 時 令和元年11月25日（月）11：00～12：00
2. 場 所 交流センター3F「委員会室」
3. 出席者 本部員：名簿のとおり
事務局：菊池経営企画課長、西谷総括主査、五十嵐総括主査、四ツ谷主査

4. 概 要

（1）第2期東通村まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024）の策定について

事務局：（事務局より資料1～8、参考資料に基づき説明後）

本部長：総合戦略に係る取組について、各課でも検討してきたと思うが、もっと真剣に柔軟性をもって、それぞれの課においても村民の意見を反映しながら、積極的に考えてほしい。そうすれば、成果がついてくる。言われたからどうこうではなく、何をどうしていくのか、事務局任せではなく、一体となって取り組んでほしい。只今の事務局からの説明について意見等はあるか。

本部長：人口減少対策は、一つ二つ事業をやればいいわけではなく、総合的にやって成果がでる。何か意見等あれば、後でも事務局に連絡してほしい。教育、保健、医療、様々な分野があるので、住んで良かった、住みたいと思うような村づくりのため、活発な議論をしてほしい。

農水課長：水産分野については、水産業総生産が低迷、漁業者の高齢化率が高く、新規就業が少ない。また、今年は、サケやイカが昨年の3割しか捕れていない。今後、北海道大学と連携して新たな水産資源の発掘や磯焼け対策等に取り組んでいく。

本部長：第一次産業が元気にならないと、村が元気にならない。収入がなければ、後継者も少なくなる。子どもの将来のためにどうしていくのか、どんどん意見を出し合ってほしい。我々も将来を見据えて、しっかりと目標をもって取り組まなければならない。例えば、一人暮らしの高齢者のためのシェアハウスをつくる検討など。各集落、住民の悩みを受け止めて、課長級も職員を引っ張っていき、一人一人が意識をもって取り組むよう、課内でも検討して話し合ってほしい。

（2）その他

特になし

以上